



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日
上場取引所 東・大

上場会社名 三洋化成工業株式会社
コード番号 4471 URL <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 孝夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総合事務本部長 (氏名) 大西 亨 TEL 075-541-6153
四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	106,104	0.2	4,629	△3.6	5,432	△10.2	3,274	△7.1
24年3月期第3四半期	105,881	3.6	4,800	△38.5	6,050	△28.7	3,523	△26.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,918百万円 (22.8%) 24年3月期第3四半期 2,376百万円 (△51.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	29.69	—
24年3月期第3四半期	31.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	148,490	91,198	59.4	799.83
24年3月期	149,196	90,526	58.5	791.46

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 88,216百万円 24年3月期 87,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
25年3月期	—	7.50	—		
25年3月期（予想）				7.50	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	0.7	5,500	△4.6	6,400	△8.0	3,600	△2.8	32.64

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年1月31日)公表いたしました「平成25年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	117,673,760株	24年3月期	117,673,760株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	7,380,592株	24年3月期	7,375,316株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	110,295,873株	24年3月期3Q	110,302,043株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
4. 補足情報	13
四半期ごとの業績推移	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(4月～12月)におけるわが国経済は、震災復興需要の下支えはあるものの、ユーロ圏の景気停滞により、中国をはじめとする新興国経済の減速感が強まったことに加え、日中関係悪化などの影響もあり、景気の後退が鮮明になっております。

化学業界におきましては、原材料価格は乱高下しながらも依然として高水準にあり、当第3四半期連結会計期間末には円安傾向に転じた為替も累計期間を通しては円高基調が継続するなど経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境下における当第3四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度における中国での高吸水性樹脂設備の増設効果などもあり1,061億4百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

しかしながら、利益面では円高の継続などにより、営業利益は46億2千9百万円(前年同期比3.6%減)、経常利益は54億3千2百万円(前年同期比10.2%減)、純利益は32億7千4百万円(前年同期比7.1%減)といずれも前年同期比で減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<生活・健康産業関連分野>

生活産業関連分野は、液体洗剤用界面活性剤は拡販により順調に売り上げを伸ばしましたが、ヘアケア製品用界面活性剤やポリエチレングリコールなどの需要が減少したことにより低調な売上高となりました。

健康産業関連分野は、紙おむつ用高吸水性樹脂の世界的な需要拡大を受け、2011年6月中国で増設した年間生産能力7万トンの高吸水性樹脂製造設備の稼働が寄与し、売上高が大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は406億6千8百万円(前年同期比5.9%増)となりましたが、営業利益は原材料価格の上昇や固定費の増加により19億3千7百万円(前年同期比13.1%減)となりました。

<石油・輸送機産業関連分野>

石油・輸送機産業関連分野は、国内の自動車生産が回復したことにより、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料は、国内向け売り上げが大きく増加しましたが、海外向けが振るわず低調な売上高となりました。一方、潤滑油添加剤が省燃費対応エンジンオイル用潤滑油の需要拡大やこれに適した新製品の上市で大きく売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は245億1千3百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は8億5百万円(前年同期比125.5%増)となりました。

<プラスチック・繊維産業関連分野>

プラスチック産業関連分野は、塗料・コーティング用薬剤などが大幅に売り上げを伸ばしましたが、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤の需要が低迷が続いていることに加え、一部製品において東日本大震災の影響による応援(受託)生産が無くなったこともあり、売り上げは横ばいとなりました。

繊維産業関連分野は、合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂の需要が低調に推移し、さらに、欧州市況の悪化を受け、中国を中心とした海外向けのガラス繊維用薬剤や炭素繊維用薬剤の需要が減少したことなどにより、売上高は大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は132億6百万円(前年同期比7.1%減)、営業利益は15億7千1百万円(前年同期比14.0%減)となりました。

<情報・電気電子産業関連分野>

情報産業関連分野は、粉碎トナー用バインダーが欧州不況などにより需要が低調に推移したものの、重合トナー中間体ポリエステルビーズが大幅に売り上げを伸ばしたことなどにより、順調に売り上げを伸ばしました。

電気電子産業関連分野は、FPD(フラットパネルディスプレイ)用樹脂の需要が減少したことに加え、アルミ電解コンデンサ用電解液やシリコンウエハ製造用薬剤の需要が低迷が続いているため、売上高が大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は150億1千万円(前年同期比3.2%減)となりましたが商品構成の良化もあり、営業利益は4億7千3百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

<環境・住設産業関連分野他>

環境産業関連分野は、主力の高分子凝集剤において新製品の本格的販売を開始したことに加え、東日本大震災のため十分な生産・出荷ができなかった影響が解消されましたが、凝集剤原料のカチオンモノマーの需要低迷により、売り上げは横ばいとなりました。

住設産業関連分野は、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料の海外向け販売が低調に推移しました。また、建築シーラント用原料の需要は堅調でしたが、一部製品において東日本大震災の影響による応援(受託)生産が無くなったこともあり、売上高は大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は127億5百万円(前年同期比8.4%減)、営業損益は1億5千9百万円の損失(前年同期は4千6百万円の損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、たな卸資産や有形固定資産の増加があったものの、時価評価による投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比べて7億5百万円減少し1,484億9千万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて6億7千2百万円増加し911億9千8百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末から0.9ポイント上昇し59.4%となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額2億6千5百万円を含め、前連結会計年度末残高と比較し3億4千7百万円増加し、97億7百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、95億5千1百万円(前年同期は47億5千万円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益50億5千8百万円、減価償却費66億9千9百万円、売上債権の減少8億9千8百万円などによる資金の増加が、たな卸資産の増加8億9千5百万円、仕入債務の減少8億8千7百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、90億5千6百万円(前年同期は79億7千万円の減少)となりました。これは、固定資産の取得に86億7千万円を支出したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、4億3千5百万円(前年同期は1億9千8百万円の増加)となりました。これは短期借入金により18億5千7百万円資金が増加(純額)する一方、配当金の支払い16億4千7百万円などにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

ユーロ圏の景気停滞により、中国をはじめとする新興国経済の減速感が強まったことに加え、日中関係悪化などの影響もあり、景気の後退が鮮明になっており、平成24年4月27日付け公表の通期業績予想を下回る見込であるため、本日連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

(通期)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	153,000	8,300	9,000	5,300	48.05
今回修正予想 (B)	142,000	5,500	6,400	3,600	32.64
増減額 (B-A)	△11,000	△2,800	△2,600	△1,700	—
増減率 (%)	△7.2	△33.7	△28.9	△32.1	—
前期実績	141,041	5,762	6,958	3,704	33.59

※業績予想は発表時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲又は持分法適用の範囲の変更

(連結範囲の変更)

持分法を適用していた三洋運輸(株)は、重要性が増加したため、当第3四半期連結会計期間より、連結子会社として連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ91百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,360	9,707
受取手形及び売掛金	42,567	41,692
商品及び製品	8,513	10,141
半製品	4,089	3,630
仕掛品	516	81
原材料及び貯蔵品	3,965	4,133
繰延税金資産	1,021	1,047
その他	871	824
貸倒引当金	△36	△34
流動資産合計	70,869	71,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,919	16,086
機械装置及び運搬具(純額)	24,267	24,045
土地	8,469	8,562
建設仮勘定	4,534	4,992
その他(純額)	1,252	1,268
有形固定資産合計	54,443	54,956
無形固定資産		
ソフトウェア	655	635
その他	384	373
無形固定資産合計	1,039	1,008
投資その他の資産		
投資有価証券	21,436	19,688
長期貸付金	3	3
繰延税金資産	304	332
その他	1,145	1,322
貸倒引当金	△45	△47
投資その他の資産合計	22,843	21,300
固定資産合計	78,326	77,265
資産合計	149,196	148,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,515	26,942
短期借入金	4,911	6,755
1年内返済予定の長期借入金	3,398	3,104
未払費用	3,141	2,772
未払法人税等	330	601
賞与引当金	1,177	684
役員賞与引当金	60	45
設備関係支払手形	2,810	2,370
その他	3,511	2,576
流動負債合計	46,854	45,852
固定負債		
長期借入金	6,927	7,178
繰延税金負債	367	251
退職給付引当金	2,953	2,546
役員退職慰労引当金	630	496
その他	936	965
固定負債合計	11,815	11,438
負債合計	58,670	57,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	12,194	12,194
利益剰余金	64,623	66,243
自己株式	△5,698	△5,700
株主資本合計	84,170	85,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,329	4,616
為替換算調整勘定	△2,203	△2,188
その他の包括利益累計額合計	3,126	2,428
少数株主持分	3,229	2,982
純資産合計	90,526	91,198
負債純資産合計	149,196	148,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	105,881	106,104
売上原価	87,250	87,864
売上総利益	18,631	18,239
販売費及び一般管理費	13,831	13,610
営業利益	4,800	4,629
営業外収益		
受取利息	45	34
受取配当金	376	483
持分法による投資利益	951	399
不動産賃貸料	254	246
為替差益	—	48
その他	144	184
営業外収益合計	1,772	1,396
営業外費用		
支払利息	198	262
不動産賃貸原価	64	57
たな卸資産廃棄損	59	228
為替差損	166	—
その他	33	45
営業外費用合計	522	593
経常利益	6,050	5,432
特別利益		
投資有価証券売却益	0	71
固定資産売却益	1	1
受取保険金	58	42
補助金収入	155	—
特別利益合計	215	115
特別損失		
固定資産除却損	250	457
固定資産売却損	—	0
投資有価証券評価損	2	20
貸倒引当金繰入額	1	1
その他	1	9
特別損失合計	255	489
税金等調整前四半期純利益	6,010	5,058
法人税等	1,893	1,448
少数株主損益調整前四半期純利益	4,116	3,610
少数株主利益	592	336
四半期純利益	3,523	3,274

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,116	3,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,297	△712
為替換算調整勘定	△442	20
その他の包括利益合計	△1,739	△691
四半期包括利益	2,376	2,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,846	2,576
少数株主に係る四半期包括利益	530	341

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,010	5,058
減価償却費	6,894	6,699
固定資産除却損	250	457
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△996	△512
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△455	△484
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△134	△134
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27	△15
受取利息及び受取配当金	△422	△518
支払利息	198	262
持分法による投資損益 (△は益)	△951	△399
固定資産売却損益 (△は益)	△1	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△71
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	20
その他の営業外損益 (△は益)	△345	△387
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,741	898
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,114	△895
その他の資産の増減額 (△は増加)	△106	△229
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,452	△887
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△127	185
その他の負債の増減額 (△は減少)	427	232
小計	6,817	9,277
利息及び配当金の受取額	907	1,340
利息の支払額	△201	△261
その他	346	13
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,118	△818
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,750	9,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12	—
固定資産の取得による支出	△7,741	△8,670
固定資産の売却による収入	35	40
投資有価証券の取得による支出	△26	△6
投資有価証券の売却による収入	0	119
貸付けによる支出	△1	△65
貸付金の回収による収入	1	2
その他	△224	△477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,970	△9,056

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,699	1,857
長期借入れによる収入	601	2,050
長期借入金の返済による支出	△1,871	△2,103
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△1,648	△1,647
少数株主への配当金の支払額	△580	△589
財務活動によるキャッシュ・フロー	198	△435
現金及び現金同等物に係る換算差額	△246	21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,267	81
現金及び現金同等物の期首残高	12,044	9,360
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	265
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,776	9,707

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康産業関連分野	石油・輸送機産業関連分野	プラスチック・繊維産業関連分野	情報・電気電子産業関連分野	環境・住設産業関連分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	38,387	23,885	14,220	15,514	13,873	105,881	—	105,881
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	24	—	136	160	△160	—
計	38,387	23,885	14,244	15,514	14,009	106,042	△160	105,881
セグメント利益又は損失(△)	2,229	356	1,828	432	△46	4,800	—	4,800

(注) セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康産業関連分野	石油・輸送機産業関連分野	プラスチック・繊維産業関連分野	情報・電気電子産業関連分野	環境・住設産業関連分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	40,668	24,513	13,206	15,010	12,705	106,104	—	106,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	—	19	—	230	261	△261	—
計	40,679	24,513	13,226	15,010	12,936	106,365	△261	106,104
セグメント利益又は損失(△)	1,937	805	1,571	473	△159	4,629	—	4,629

(注) セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

<参考>

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	91,953	2,787	9,365	1,774	105,881	—	105,881
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,240	52	696	2	3,992	△3,992	—
計	95,193	2,840	10,062	1,777	109,874	△3,992	105,881
営業利益(又は営業損失)	4,122	△154	660	93	4,721	79	4,800

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	88,290	2,821	12,975	2,017	106,104	—	106,104
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,960	7	840	—	3,808	△3,808	—
計	91,250	2,828	13,816	2,017	109,912	△3,808	106,104
営業利益(又は営業損失)	4,350	△188	286	91	4,539	89	4,629

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	22,723	(12,559)	7,022	7,147	36,892
II 連結売上高	—	—	—	—	105,881
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合 (%)	21.5	(11.9)	6.6	6.7	34.8

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	23,070	(14,005)	7,661	5,106	35,839
II 連結売上高	—	—	—	—	106,104
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合 (%)	21.7	(13.2)	7.2	4.9	33.8

(注) 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他

(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中東 他

4. 補足情報

四半期ごとの業績推移

1. 連結

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
	(平成23年4月～6月)	(平成23年7月～9月)	(平成23年10月～12月)	(平成24年1月～3月)	平成24年3月期
売上高	35,379	35,651	34,850	35,159	141,041
営業利益	2,335	1,039	1,425	961	5,762
経常利益	2,890	1,301	1,858	907	6,958
四半期(当期)純利益	1,508	960	1,054	180	3,704
四半期包括利益又は包括利益	1,841	172	362	1,994	4,370

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	伸び率 (%)				
				(平成24年4月～6月)	(平成24年7月～9月)	(平成24年10月～12月)	前年同期(3Q)比	前四半期(2Q)比
				売上高	35,929	34,751	35,422	1.6
営業利益	1,635	1,350	1,642	15.2	21.6			
経常利益	2,245	1,210	1,975	6.3	63.1			
四半期(当期)純利益	1,171	739	1,363	29.3	84.4			
四半期包括利益又は包括利益	949	△338	2,307	536.3	—			

2. 単体

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
	(平成23年4月～6月)	(平成23年7月～9月)	(平成23年10月～12月)	(平成24年1月～3月)	平成24年3月期
売上高	24,811	24,855	24,045	24,342	98,054
営業利益	940	255	741	335	2,272
経常利益	1,653	848	1,569	1,101	5,172
四半期(当期)純利益	1,037	736	959	801	3,533

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	伸び率 (%)				
				(平成24年4月～6月)	(平成24年7月～9月)	(平成24年10月～12月)	前年同期(3Q)比	前四半期(2Q)比
				売上高	24,351	23,195	23,281	△3.2
営業利益	1,092	437	865	16.6	97.8			
経常利益	1,877	1,129	1,416	△9.8	25.3			
四半期(当期)純利益	1,146	1,006	1,220	27.2	21.2			